



きらりん えがお

令和4年11月18日
平田幼稚園
園長 田中佳江

12月2日の生活発表会に向けて、各クラスともこれまでの遊びから、少しずつ表現したいことや、やってみたいこと、見てもらいたいことが形になってきています。子どものつぶやきを拾い上げたり、子ども達と話し合ったりして、ストーリーを作ったり、大道具小道具を準備したり、音響を考えたりと、この時期の担任はまるで舞台監督のようです。一人一人が自信をもって輝けるように、これから当日に向かって職員みんなで支えていきたいと思えます。

クラスの遊びへ他クラスの友達をご招待

これまで、年少組ではお祭りの遊び、年中組ではオバケの遊び、年長組では飛行機の遊びを楽しんでいます。自分達が十分に遊んで満足感をもち、「他の組の人にも来てほしいなあ」という気持ちもつよようになってきました。そこで、17日（木）に年少組と年中組が他クラスの友達を招待することになりました。来てもらう方も、招待された方もとても嬉しそうにワクワクしていました。

年少組では、お祭りのお店屋さんになった年少児が「いらっしゃいませ」「タコ焼きをどうぞ」「青いゴザの上で食べてね」と声をかけたり、金魚すくいの入れ物を渡したりと大忙し。招待された年中児や年長児はその説明を聞きながらお祭りの屋台の雰囲気を楽しんでいました。一緒におみこしを担ぐ姿も見られました。

年中組では、「ここはオバケハウスだよ」と暗いハウスと一緒に入ったり、「これはキノコを入れる鍋。火がつくんだよ」と説明しながらキノコを混ぜたり、魚釣りの遊び方を説明して一緒に釣ったりと、来てくれた友達と一緒に楽しむ姿が見られました。

遊びの振り返りでは、「遊びにきてくれて嬉しかった」「オバケハウスが面白かった」「金魚すくいやたこ焼き屋さん、みんな楽しかった」など思いを伝え合っていました。他クラスの友達と一緒に遊んでよほど楽しかったのでしょうか、「バイバイ、またね」と名残惜しそうにお互い手を振っていましたよ。



「オバケの魚釣り、ちょっと難しいね」



「いらっしゃいませ」「タコ焼きください」



「金魚すくい楽しいね」

収穫祭をしました

田んぼで年長児が稲刈りしたお米や、園内の畑でできたさつま芋やかぶなどの野菜の収穫を喜んだり、クッキングをして食べる『収穫祭』を、11月16日（水）に行いました。

田んぼや畑の活動でお世話になっている地域の方をお招きし、お礼を言って感謝の気持ちを表したり、野菜クイズをしたりし、みんなで収穫祭を楽しみました。その後、各クラスで『わかめご飯』『豚汁』『大根と水菜のサラダ』を食べました。

「あっ、さつま芋が入ってる。ぼくが掘ったのかなあ」「水菜は、私たちが育てたんだよね」と、自分達で育てて収穫したものを食べることは、とても嬉しかったようです。「おいしいね」と、みんなたくさん食べましたよ。



「稲刈りや野菜の育て方を教えてください
くださってありがとうございました」



「わかめご飯や豚汁、美味しいね」



